

Accuphase

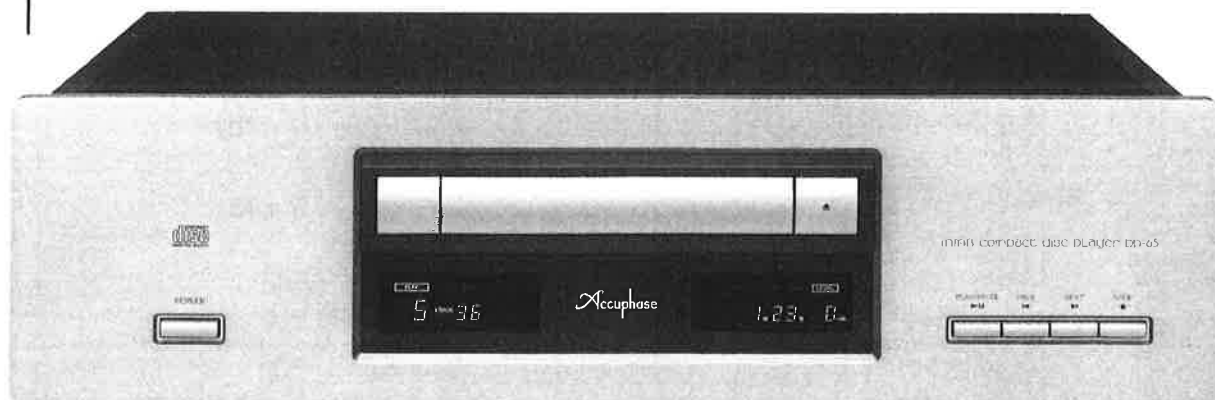
# COMPACT DISC PLAYER

## DP-65

CDプレーヤー

取扱説明書

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO



ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、後々お役に立つことがありますので、お客様カードと引  
きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しいチェックを受け、その過程および結果が一台ごとの製品の履歴書として明細に記録され、社内に保管されております。このように完全な品質管理体制の中から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お 願 い

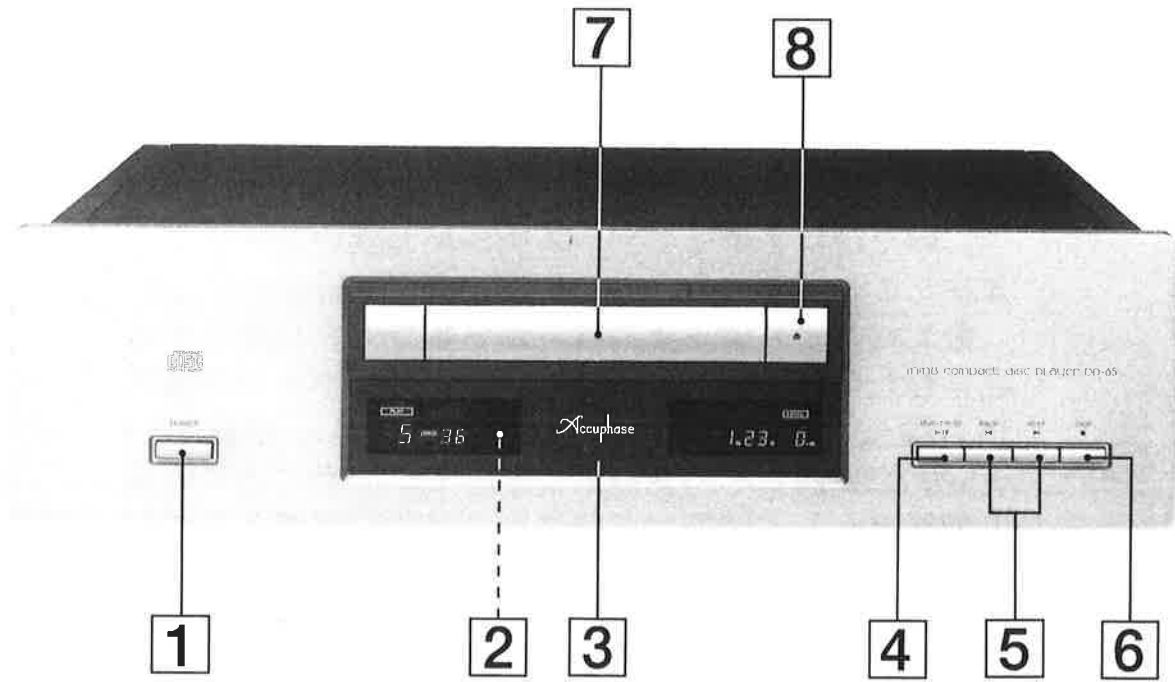
お客様カードを付属していますから、これに必要事項をご記入のうえなるべく早く（お買上げ後10日以内に）ご返送ください。お客様カードと引きかえに品質保証書をお届け申し上げます。

製品に関するお問い合わせ、または異常が認められるときは弊社、品質保証部または、お求めの専門店へ、直ちにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

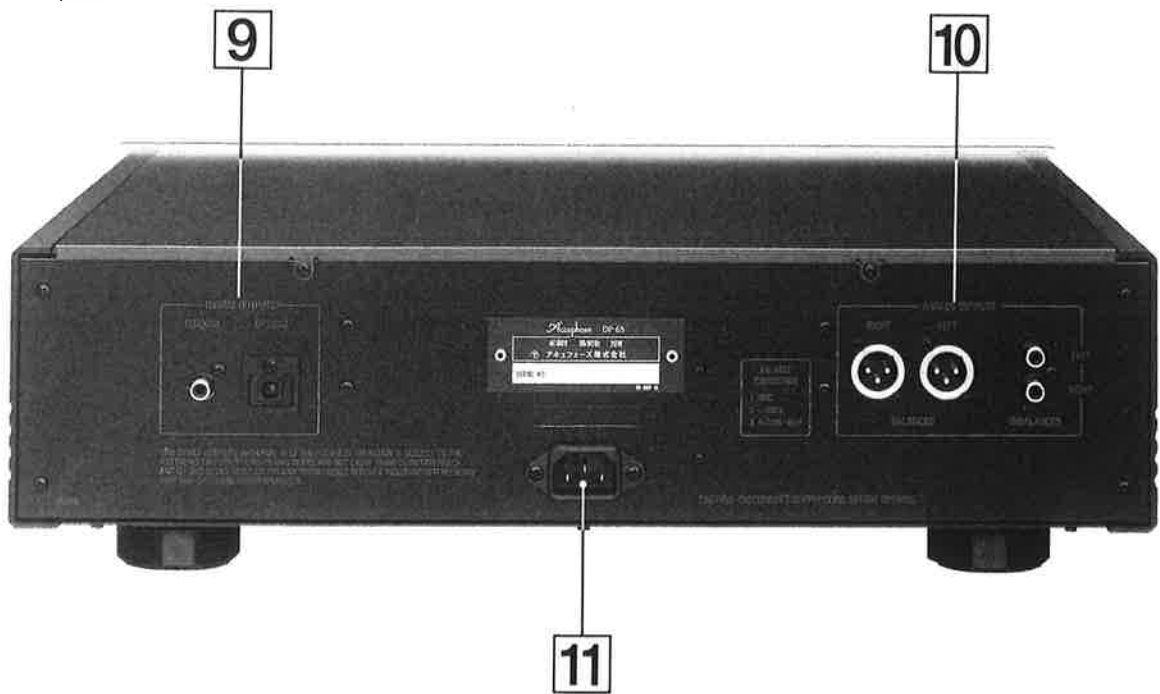
目 次

接続図	3
特長	4
ご注意	5
各部の動作説明	6
ご使用方法	13
リモート・コントロール	16
保証特性	17
特性グラフ	18
ブロック・ダイアグラム	19

フロントパネル



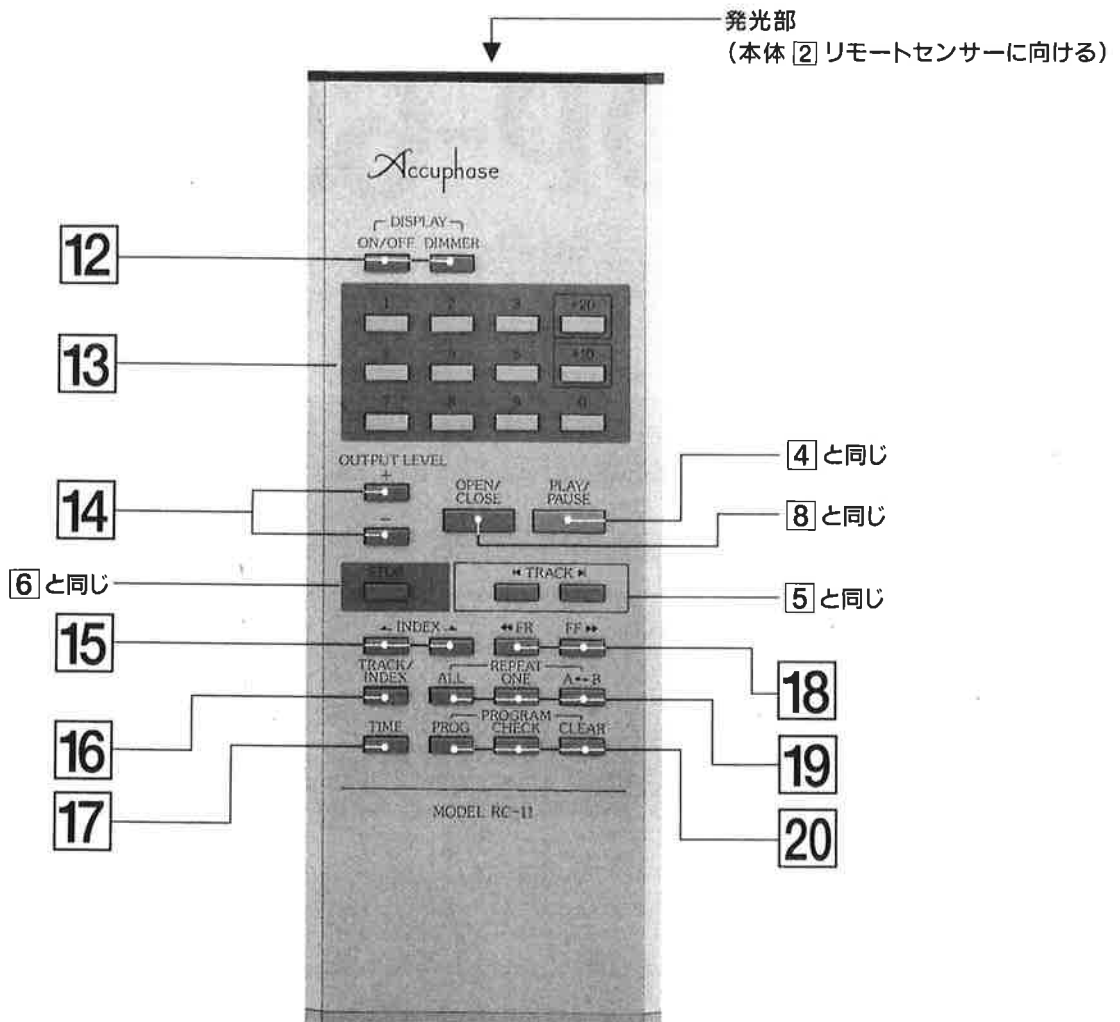
リアパネル



**3** ディスプレイ部



リモート・コマンダー RC-11

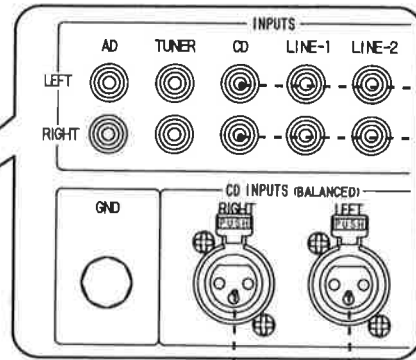


# 接続図

接続するときは、かならず各機器の電源を切り、LEFT(左)、RIGHT(右)を正しく接続してください。

## アナログ出力の接続

プリアンプまたはプリメインアンプのCD、LINE、AUXと表示のある端子に入力してください。



バランス用ケーブル(別売)

プラグ付オーディオケーブル(付属)



トスリンク光ファイバー(別売)

75Ω同軸ケーブル

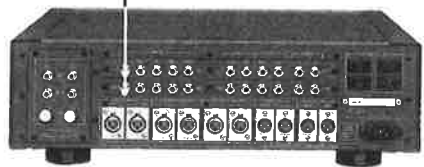
デジタルプロセッサ

## デジタル出力端子の接続

デジタルプロセッサまたはデジタル入力付のアンプ、DATなどのデジタル入力端子に接続してください。



CD入力端子へ



プリアンプ

AC電源コード(付属)  
AC100V, 50/60Hz



## 特長

### ■MMB方式D/Aコンバーターにより、20ビットのリニアリティと低雑音を実現

音質に大きくかわるD/Aコンバーターは、驚異的な性能を誇るMMB方式です。MMBとはMultiple Multi-Bitのインシュアルで、厳選された20ビットD/Aコンバーターを多数個並列駆動させた大規模な構成です。並列の個数をnとして改善度を式で表すと $20\log(1/\sqrt{n})$  [dB] となり、本機の場合4個並列ですから、改善度は6dBになります。この結果、デジタル入力対アナログ出力のリニアリティは、大レベルから微小レベルまで直線になっていて完璧な限界性能を示しています。またMMB方式による改善効果は、周波数や信号レベルとは全く無関係であるため、マルチビット・タイプの弱点とされていた微小レベルのリニアリティまでも一挙に改善しました。

### ■20bit 8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルター

デジタルフィルターは、入力されたデジタル信号を整数倍に高くして、音楽信号から遠くに離し、可聴周波数にデジタル信号が混ざらないようにします。本機に使用した素子は、インターポーレーション部が91次直線位相FIRフィルター 3段構成、ディエンファシス部はIIRフィルターで、正確なゲイン・位相特性を実現しました。この性能は、位相直線で群遅延ひずみはゼロ、通過帯域のリップルは最大0.00005dB、阻止帯域減衰量は110dB以上を誇ります。

### ■音質劣化がないデジタル方式のレベルコントロール

正確で音質劣化のないデジタル・アッテネーターは、デジタルフィルターの部分で行われます。通常のD/Aコンバーターでは、いわゆる『ビット落ち現象』が生じ、アッテネートするのに従いデジタル雑音が発生してしまいます。本機では4ビットの余裕を持った20ビットMMB方式D/Aコンバーターにより、最大-40dBまで音量調整が可能です。

### ■素子を厳選したGIC 3次アナログ・フィルター

アナログフィルターには、減衰が緩やかなGIC (Generalized Immitance Convertor) 3次バターワース・フィルターを採用しました。この回路は、周波数特性が緩やかな上、ディスクリート・パーツで構成されているため素子を厳選することが可能となり、音質上大変有利になっています。

### ■デジタル部とアナログ部を完全分離。雑音に対する完璧な対策

HP社製の40Mbit/secの伝送能力を持つ超高速オプトカプラーを用いて、デジタル部とアナログ部を静電的・電磁的に完全に分離しました。

電源トランスもアナログ回路/デジタル回路用それぞれ専用に独立させて、電源からのデジタル雑音を防止しています。また、交流電源から侵入するその他の雑音や高周波妨害は、コモンモードに捲かれたトロイダル・チョークコイルと側路用コンデンサーを用いることによって、完璧に除去されています。

### ■完全平衡(バランス)回路を装備

グラウンドからフローティングされた完全バランス回路を、電子回路で実現しました。伝送途中の外来雑音によって誘発されたノイズを除去し、音質の劣化を防止するバランス伝送は、ノイズフリーの高音質再生が可能です。

### ■レーザーピックアップにRF増幅器を内蔵し雑音妨害に対処

レーザーピックアップの出力は極小で、このままでは周囲の雑音に妨害されます。本機のピックアップには、超小型軽量RFアンプを内蔵、増幅された大信号を送り出すことにより、雑音妨害を防ぎました。

### ■サーボモーター・ドライブにアース依存のないバランス駆動回路

スピンドル、スレッド、フォーカス、トラック、トレイの各アクチュエーターに流れるドライブ電流は、その駆動状態によって常に激しく変化します。本機は、これらのアクチュエーターを2つのアンプで駆動するバランス駆動回路を用いています。このためアースには電流は流れず、他の回路から分離していますのでそれぞれの干渉がありません。

### ■トレイの共振を防ぐトレイロック機構

ディスクをスライドするトレイは演奏中、回転機構から外れ共振の元になり信号を劣化させます。本機のドライブ・ユニットは、演奏中トレイをしっかりとロックし共振を皆無にしました。

### ■リモート・コマンダー装備

付属しているリモート・コマンダーによって、本機をコントロールすることができます。ダイレクトプレイ、リピート、プログラム機能などやディスプレイの明るさを制御するディマー機能も装備されています。

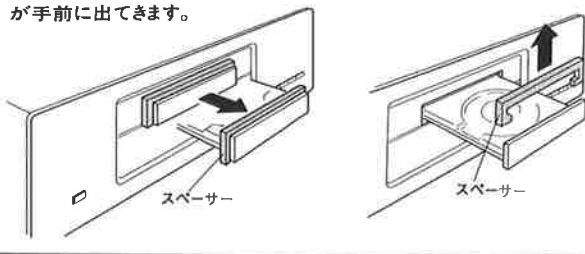
## ご注意

### ～お使いになる前に～

レーザー・ピックアップを含む光学部品は輸送時の衝撃から保護するためにロックされています。ご使用前にスペーサーを図のようにはずしてください。

電源スイッチを入れると、約5秒後にディスク・テーブルが手前出てきます。

スペーサーをはずします。



### ■設置場所について

必ず水平な場所に設置してください。次のような場所は、故障や事故の原因となります。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる所
- 暖房器具の近くなど温度の高い所
- 極端に寒い所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

また、他の機器と直接重ねて使用しないでください。

**チューナーやテレビ、ビデオデッキから離して設置してください。**

- 近くに置くと、雑音や映像の乱れが生じることがあります。(特に室内アンテナの場合は注意。)
- アンテナ線と本機の電源コードや入・出力コードを離して設置してください。

### ■光ファイバーの取り扱いについて

本機のデジタル出力は、75Ω同軸ケーブルのほかに、別売のトスリンク用光ファイバーを用いて伝送することができます。光ファイバーは、中のコアに光信号が通ります。プラグの先端のよごれやキズ、レセプタクルの中の異物は、大敵です。また、セットアップした後で光ファイバーの長さに余裕があるときは、セットの後ろで大きく丸く(直径10cm以下にはしない)束ねておいてください。決して強く曲げたり、ご自分で切断、再加工をなさらないようにしてください。

### ■音量レベルについて

コンパクト・ディスクの再生は、非常にノイズレベルが低く、音楽信号に含まれるピーク成分も正確に再現します。したがって、ノイズを聴きながら音量レベルを合わせると、思わぬ大音量が出てスピーカーを破損することがあります。また、音量に対する注意書きがあるディスクは、ボリュームにご注意ください。

### ■光学系ピックアップの結露について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラス一面に水滴がついて曇ってしまう現象、これを結露といいます。CDプレーヤーでも次のようなときに、ピックアップ・レンズに結露することがあります。

- ストーブなど、暖房器具をつけた直後
- 湿度が高く、湯気が立ち込めている部屋に置いてあるとき
- 冷えた戸外や冷房のきいた部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだとき

### ～ 結露してしまったら ～

結露すると、光学ピックアップがディスクのデジタル信号を読み取ることができず、プレーヤーが正しく動作しなかったり、まったく作動しなくなります。

このような場合、ディスクを取り出して電源を入れておけば、**長くても約1時間で露が取り除かれ、正常な作動をするようになります。**

### ■ディスクの取り扱い

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿のところには置かないでください。
- 演奏終了後は、ケースに入れて保存してください。
- レーベル面の反対側が信号記録面です。指紋やホコリなどの汚れは音質劣化の原因となります。お手入れの場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ軽く拭いてください。

### ■その他

- 電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたりしないでください。電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。
- トッププレートや底板は絶対にはずさないでください。内部に手などを触れますと感電事故や故障の原因となり、大変危険です。
- 本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナー系の液体は、表面を傷めますので使わないでください。

# 各部の動作説明

## 1 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。  
電源スイッチをOFFにすると、それまでに設定された機能は、DISPLAY機能、OUTPUT LEVELや残り時間表示を除いて、解除されます。

## 2 リモート・センサー

本機に付属しているリモート・コマンダーRC-11の赤外線信号の受光部です。リモート・コマンダーを使用するときは発光部をここに向けてください。

## 3 ディスプレイ部

### Ⓐ PLAY インジケータ

演奏中は点灯し、PAUSE中は点滅、STOP時は消灯します。

### Ⓑ PROGRAM インジケータ

プログラムをセットするときやプログラム演奏中に点灯します。

### Ⓒ REPEAT ALL、ONE、A↔B インジケータ

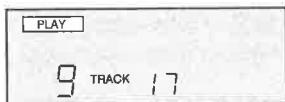
リピート演奏時に点灯し、ALL(全曲)/ONE(1曲)/A↔B(指定区間)のいずれかであることを表示します。

### Ⓓ 演奏トラック・インジケータ

演奏中のトラック(曲の番号)を表示します。PAUSE(一時停止)中はその時点のトラック番号を表示します。TIMEキーを切り替えて絶対残量時間と絶対経過時間の表示のときは、このトラック表示は消えます。

### Ⓔ TRACK/INDEX インジケータ

TRACK/INDEXキーを押すと、表示が切り替わります。



TRACK(点灯):ディスクに入っている全曲数を表示



INDEX(点灯):インデックス番号を表示

### Ⓕ タイム・インジケータ

ディスクが入ると全演奏時間を表示します。

演奏中は曲中の経過時間を表示します。

Ⓖ TIME表示切替キーを押すことにより、**曲中経過時間**→**曲中残量時間**→**絶対残量時間**→**絶対経過時間**を繰り返して表示します。



- 絶対経過時間の場合には、Ⓖに分(M)と秒(S)をⒸに**フレーム(1フレーム=1/75秒)**が表示されます。
- STOP時は消灯します。
- 残り時間を表示しているときは、数字の前に一記号が出ます。
- 演奏が始まる前には経過時間がカウントダウンされますので、一記号が出る場合があります。

### Ⓖ 出力レベル/フレーム・インジケータ

OUTPUT LEVELキーにより、出力レベルをデシベル(dB)で表示します。



また、TIMEキーで絶対経過時間を選択した場合には、**LEVEL**と“-dB”は消灯しフレーム表示となります。



## 4 ▶|| PLAY/PAUSE (演奏/一時停止)キー

演奏を開始するとき又演奏を一時停止するときに押します。

- 押すと **PLAY** インジケータが点灯して演奏を開始します。ディスクがテーブル上であれば、自動的にテーブルが閉じて、最初のトラックから演奏を開始します。
- 演奏中に押すと **PLAY** が点滅に変わり一時停止状態になります。再度キーを押すと点灯に変わり、一時停止した位置から再び演奏が始まります。
- 一時停止中に、トラックサーチ・キーでトラック番号を変えたり、早戻し・早送りなど変更した場合はそのポジションから演奏を開始します。

## 5 ◀BACK/▶NEXT (トラックサーチ)キー

### ◀BACK TRACK サーチ・キー

演奏中や一時停止の状態、1回押すとその曲の頭に戻ります。続けて押すと順次、前の曲へトラック番号をカウントダウンします。

### ▶NEXT TRACK サーチ・キー

前とは逆に、1回押すと次の曲の頭へ飛びます。続けて押すと順次、次の曲へトラック番号をカウントアップします。

- ◆ サーチ中はⓐTIMEインジケータは消え音もでません。
- ◆ ディスクが入っている場合、ⓐに表示されている最大トラックを超えることはありません。
- ◆ ディスク・テーブルが出ている場合にトラックサーチ・キーで番号を指定して ▶|| PLAY/PAUSEキーを押せば、指定したトラックから演奏を開始します。ただし、指定した数字が最終トラックを超えているときは、そのディスクの最後の曲を演奏します。

## 6 ■STOP(停止)キー

演奏中や一時停止中にこのキーを押すと演奏停止になります。

## 7 ディスク・テーブル

▲(OPEN/CLOSE)スイッチを押すと手前に出てきます。ディスクはレーベル面を上にしてテーブルに載せてください。8cmディスクを演奏する場合にも、特別なアダプターを必要としません。

ディスク・テーブルの前面を軽く押すか、▲(OPEN/CLOSE)スイッチをもう一度押すか、▶|| PLAY/PAUSEキーを押すと閉じます。

## 8 ▲(OPEN/CLOSE)スイッチ

押すと、ディスク・テーブルが手前に出てきます。もう一度押すとテーブルは中へ入ります。ディスクが入っている場合には、直ちにディスクのリードイン・エリア(Lead-in Area)のTOC(Table of Contents)を読み始め、全曲数と全演奏時間を表示します。

## 9 DIGITAL OUTPUTS— デジタル出力端子

CDから読み取った音楽情報をデジタル信号で出力する端子です。デジタル・プロセッサ(D/Aコンバーター)やデジタル入力端子を装備したアンプ、DATなどと接続します。デジタル信号は、左右チャンネルの音声や制御に必要な情報が一つの信号系で伝送する方式を採用しています。この2種類の端子から一つを選択してください。

### COAXIAL

ピンプラグ付同軸ケーブルで接続してください。このジャックから信号を伝送する場合は、デジタル信号の周波数が非常に高いので、質の良いビデオ用のケーブル(75Ω)をご使用ください。

## OPTICAL

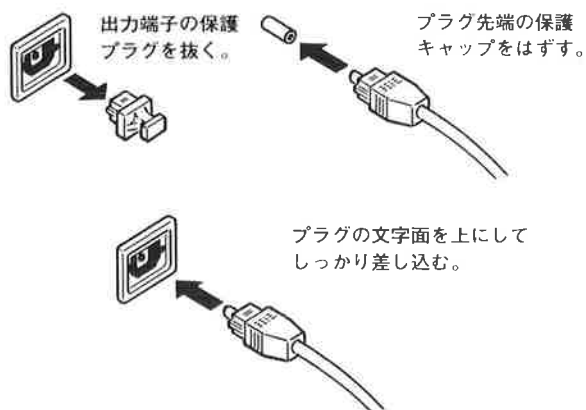
EIAJ規格のトスリンク光ファイバー接続用端子です。この形式の光ファイバー用レセプタクルを装備している機器と接続できます。アキュフェーズで別売の光ファイバー(LG-10等)は、コアに石英ガラスを使用した本格的なものです。

### ご注意

光ファイバーは、曲げなどの力には非常に弱く断線する場合があります。長さに余裕があるときは、セットの後ろで丸く束ねておいてください。決して強く曲げないでください。もちろん、切断、再加工などはできません。

コア(芯材)に光信号が通ります。プラグの先端のキズ、汚れ、レセプタクルの中の異物は天敵です。使用しないときは、キャップをつけておいてください。

光ファイバーの抜き差しは、プラグをしっかりと持ち、ファイバーを引っ張らないように注意しましょう。



## 10 ANALOG OUTPUTS—アナログ出力端子

### BALANCED(平衡出力)コネクター

業務用機器が標準仕様として採用している、誘導雑音の排除能力に優れた、出力インピーダンス50Ωのバランス型出力コネクターです。アンプの入力コネクターがバランス入力を装備している場合には、良質なオーディオ信号の伝送が可能です。

●コネクターは、XLR-3-32相当型ですから、適合コネクターはXLR-3-11Cです。極性は、

- ①:グラウンド
- ②:インバート(-)
- ③:ノンインバート(+)

●出力レベルは⑭出力レベル調整でUNBALANCED出力にも可変できます。

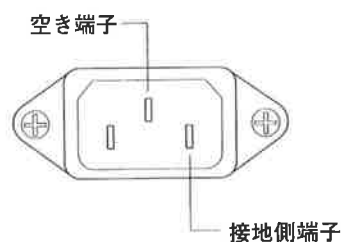
●バランス用オーディオ・ケーブルは別売しています。

### UNBALANCED(不平衡出力)ジャック

通常のピンプラグ付オーディオ・ケーブルでアナログ出力を取り出すときに、このジャックをご使用ください。

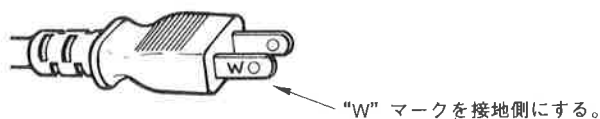
## 11 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。電源はAC100V家庭用コンセントをご使用ください。



### ■電源コードの極性表示

室内のコンセントは大地に対して極性を持っています。機器とこの極性を合わせることで、音質的に良い結果が得られる場合があります。本機も電源の極性を合わせるように配慮し、電源プラグの接地側に『W』マークを刻印しています。



しかし、本機の電源ラインには高周波雑音を遮断するため、ラインフィルターが挿入されていますので、極性チェッカーで確認すると、極性が生じないか、または誤表示する場合があります。このような場合でも、この『W』マークは接地側としてお使いいただいても問題ありません。

### ■AC電源電圧の変更とヒューズについて

AC電源電圧は国内仕様の100V、国内以外の仕様として120V、220V、230V、240Vに対応することができます。本機を国内以外の地域で使用する場合は、電源電圧の変更と適正なヒューズの使用が必要となります。

電源電圧の変更やヒューズが切れて電源が入らなくなったときは、必ず弊社の品質保証部、または弊社製品取扱店へご連絡くださいますようお願いいたします。

## 12 DISPLAYキー

### ON/OFF

ディスプレイの表示を全て消すことができます。もう一度押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイがOFF状態で電源を入れると、ディスプレイは約3秒間表示された後、消えます。“Accuphase”の文字は消えません。

### DIMMER

このキーを押すことにより、ディスプレイ表示の明るさを3段階に変えることができます。ディスプレイOFFからONにすると、最大の明るさに戻ります。

“Accuphase”の文字は変わりません。

## 13 ダイレクトプレイ・キー

このキーを使うと、▶▶ PLAY/PAUSEキーを押すことなくトラック(曲)の番号を直接指定して、演奏を開始させることができます。PAUSE中、STOP状態の時、演奏中であってもこのキーが優先します。

- **1**～**9**までのキーを押すと、その番号から演奏を開始します。
- **+10**と**+20**のキーは10位の桁を、**0**キーは1位の桁を表します。

例:23番を演奏するには

- **+10**キーを2回押してから**3**キーを押します。
- または、**+20**キーを押してから**3**キーを押します。

30番を演奏するには

- **+10**キーを3回押してから**0**キーを押します。
- または、**+10** **+20** **0**キーを順に押します。

- **+10**や**+20**キーを押すと、10位の桁が押した回数に比例してカウントアップしていき、1位の桁は—表示されます。1位の桁は5秒以内に指定しないと元に戻ってしまいます。
- 演奏途中に**+10**や**+20**キーを押してから次のキーを押すまでは、そのまま演奏が続きます。
- ディスクを入れて演奏を始める前、このキーでトラック番号99までの番号を指定できます。
- ディスクのトラック番号を超える数字が入力されたときは、そのディスクの最終トラックの演奏を開始します。
- ディスクが入っているときに、存在しないトラックを指定しようとしても受け付けません。

## 14 OUTPUT LEVEL— 出力レベル調整

本機は20ビットの利点を最大限に生かしたデジタル方式の音量調整を採用しました。レベルは1dBステップで、0dB～-40dB間を可変できます。

## 15 INDEX (インデックス・サーチ)キー

インデックス番号とは1曲の中を細分化する場合に付けられている番号です。楽章の変わり目や曲中の節目に付けられていると、曲の特定な場所からの演奏が容易になります。ディスクによって細分化されていないものも多々ありますので、ディスクの解説書をご参照ください。

- ◆サーチ中はタイム・インジケータは消えます。また、音もでません。
- ◆インデックスをサーチすると、ⓈTRACK/INDEXインジケータはインデックス番号表示に変わります。元の曲数表示(最終トラック番号表示)に戻すときは、TRACK/INDEXキーを押してください。

### ←BACK INDEXサーチ・キー

PLAYおよびPAUSE状態のときにこのキーを1回押すと、演奏中のインデックスの頭に戻り、続けて押すと順次、前のインデックスへカウントダウンします。そのトラック内のインデックス1番より前へ戻ることはありません。

### →NEXT INDEXサーチ・キー

このキーは逆に、1回押すと次のインデックスの先頭に飛びます。続けて押すと順次、インデックスをカウントアップします。インデックス・サーチは、そのトラック内を飛び出すことはありません。存在するインデックス番号より大きい番号を指令しますと検索後は、最終インデックスの頭に飛びます。

## 16 TRACK/INDEXキー

ⓈTRACK/INDEXインジケータの表示を切り替えます。通常、ディスクが入っていれば、そのディスクの最終トラック番号をディスプレイしていますが、このキーを押すと、その時点のインデックス番号を表示します。再度このキーを押すと最終トラック表示に戻ります。

## 17 TIMEキー

TIME切替キーは、Ⓢタイム・インジケータの表示モードを切り替えるキーです。

通常は曲中の経過時間を表示していますが、**キーを1回押すごとに**

曲中経過時間 → 曲中残量時間  
↑ ↓  
絶対経過時間 ← 絶対残量時間

を繰り返し表示します。このように、キーを押す度に4種類の時間表示が循環します。6ページ参照。残り時間の数字の前には一表示されます。

## 18 ◀◀FR(早戻し)/▶▶FF(早送り)キー

PLAY(演奏)中およびPAUSE(一時停止)中に作動させることができます。キーを押し続けている間作動します。

- PAUSE中は4倍の速さで早戻し、早送りができます。
- ◀◀FRキーを押し続けて第1トラックの先頭に到達し、さらに続けて押すと、PLAY状態のときは、第1トラックから演奏を開始します。
- ▶▶FFキーを押し続けて演奏が終了すると、自動的にPAUSE状態になりますので、演奏トラックを再指定してください。

## 19 REPEAT (繰り返し演奏) キー

- ◆リPEAT解除はキーを再び押すかディスク・テーブルを開けてください。STOPキーでは解除できません。
- ◆リPEAT演奏中でもトラックサーチ、インデックス・サーチ、早戻し・早送りなど、全ての動作が通常と変わることなく操作できます。
- ◆“ALL”と“ONE”はいかなる状態にあるときでも、指令をだすことができます。

### ALL (全曲) リPEAT キー

ディスクに記録されている全曲を繰り返し演奏させるためのキーで、ALLキーを押すと◎インジケータに“ALL”が点灯し作動状態になります。

### ONE (1曲) リPEAT キー

ディスク内の特定の1曲だけを繰り返し演奏させるキーで、ONEキーを押すとインジケータに“ONE”が点灯し作動状態になります。

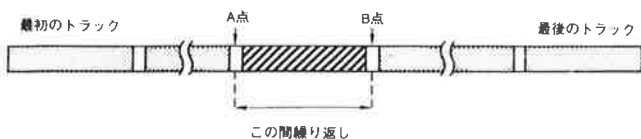
リPEAT中、トラックサーチ、早戻し・早送りなどで演奏しているトラックが変わったときは、変更後のトラックで1曲リPEATを行います。

### A↔B (指定区間) リPEAT キー

ディスク内の指定した区間を繰り返し演奏させるためのキーです。

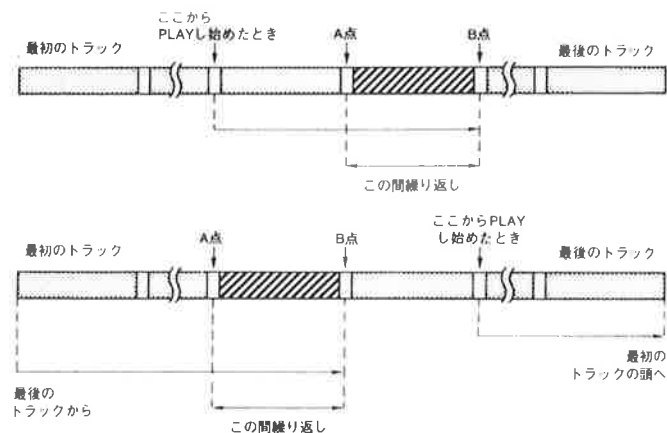
- ①演奏中に起点となるところ『A点』でA↔Bキーを押す。  
“A↔B”インジケータが点滅してA点が設定。
- ②折り返したいところ『B点』に到達したら、再度このキーを押す。“A↔B”が常時点灯に変わって、演奏はA点に戻る。
- ③A～B間を繰り返して演奏する。

#### 《A点がB点より時間的に前のとき》



- 早送り・早戻し、トラック・サーチのキーを使うと、手早くA点、B点を決めることができます。
- PAUSE (一時停止) 中にも設定可能です。
- トラックサーチ、インデックス・サーチ、早戻し・早送りなどにより指定区間を飛び出した場合には、図の様に動作します。

#### 《指定区間外からPLAYしたときのREPEAT動作》

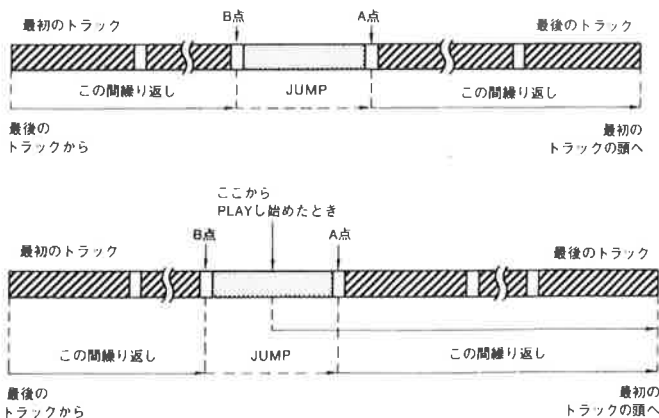


#### A↔BリPEATキーで、特定の曲、区間をジャンプさせることが可能です。

前項でA点より手前にB点を設定すると、B～A間をカットした演奏が可能です。

まず、A点を設定したらトラックサーチや早戻しキーを操作して、B点を手前に設定してください。A点から最後のトラックの演奏が終わると、今度は最初のトラックの頭から演奏が始まり、B点に到達すると直ちにA点へジャンプします。

#### 《B点がA点より時間的に前のとき》



## 20 PROGRAM(プログラム)演奏キー

ディスクの中から聴きたい曲だけをピックアップして、好きな順序で演奏を楽しむための大変便利な機能です。また、20曲までのプログラムが可能ですから、限度以内のディスクなら曲の演奏順序を変えて楽しんだり、同一の曲を指定回数だけ繰り返し演奏させる、ということも可能になります。

### 《プログラム演奏のセット方法》

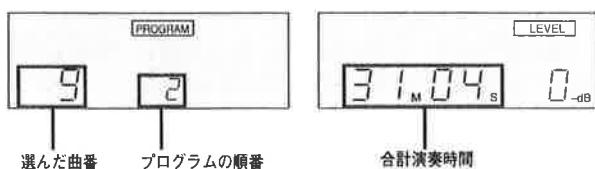
#### プログラムするには

STOPキーを押します。演奏中や一時停止中にプログラム演奏のセットはできません。

PROGキーを押すと **PROGRAM** が点灯してプログラム開始可能となります。プログラム・モードを解除するには、再び PROGキーを押してください。STOPキーでは解除できません。

#### PROGRAM が点灯したら

⑬ ダイレクトプレイ・キーで希望する演奏トラックの順序に従って曲番を入力していきます。キーを押して曲番を入力すると、①にトラック番号が、②にはプログラムした順序、③にはプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。この時間表示は99分59秒を越えると  $—M—s$  となります。曲番を押しまちがえたときは、CLEARキーを押します。



#### プログラムしたトラック番号を確認するには

トラックサーチ・キー◀BACKと▶NEXTを使用します。プログラムした順番と範囲内において順次、移動させることができます。

#### プログラムのセットが完了したら

▶▶PLAY/PAUSEキーを押して演奏開始です。

#### プログラム演奏中にプログラムの演奏順序や曲数がチェックできる

CHECKキーを1回押す度に、プログラムした第1曲目から順番に曲番がディスプレイされます。そのままにしておけば、2秒後に解除されて、キーが押される前の状態に復帰します。なお、チェック中は時間表示はありません。

#### 途中にプログラムを追加したいときは

STOPキーを押します。トラックサーチ・キーを使って追加したい場所をディスプレイさせて、ダイレクトプレイ・キーで入力します。表示されているトラック番号の次のところに追加入力されません。

#### 入力したプログラムを一部削除したいときは

STOPキーを押します。トラックサーチ・キーを使って削除したい曲番を表示させてCLEARキーを押します。PLAY(演奏)中やPAUSE(一時停止)中にはできません。

#### セットしたプログラムをすべて削除したいときは

ディスク・テーブルを開けるか、一旦電源を切ります。

#### 《プログラム演奏中のご注意》

- ▼プログラム演奏中にPROGキーを押すと、演奏は続行されますがプログラム・モードは解除されて通常の演奏になります。
- ▼プログラム演奏中にSTOPキーを押すと、演奏は停止しますが、プログラム・モードは解除されません。
- ▼プログラム演奏中に◀BACK TRACK/▶NEXT TRACKキーを用いれば、プログラム順序に従って、戻り/送りされ、希望のトラックの頭から演奏開始ができます。
- ▼プログラム演奏中にダイレクトプレイ・キーは作動しません。
- ▼REPEAT(繰り返し)演奏は、プログラム演奏中やプログラム中でもあってもセット可能ですが、A↔B REPEATはできません。
- ▼プログラム演奏中においてもINDEX(インデックス)キーを使用して演奏を楽しむことができます。
- ▼プログラム演奏中は、全残り時間表示は  $—M—s$  になって、表示されません。曲中の残り時間は表示させることができます。

# ご使用方法

## ～演奏の前に～

- アナログ出力は、プリアンプ、プリメインアンプのCD、LINEまたはAUXの入力端子と接続します。
- 本機はデジタル出力も装備していますので、デジタルプロセッサ(D/Aコンバータ)やDATなどデジタル入力のある機器との接続が可能です。
- 各ファンクション・キーの動作状態の詳細は、『各部の動作説明』の項を参照してください。
- POWERスイッチは、機器が正しく接続されるまで入れないでください。また、アンプのボリュームは演奏と同時に大音量にならないように、下げておいてください。

## 演奏の基本操作

- ①POWERスイッチを押し、電源を入れます。
- ②▲(OPEN/CLOSE)キーを押し、ディスク・テーブルを出します。ディスクはレーベル面を上にしてテーブルにのせます。
- ③▶▶ PLAY/PAUSEキーを押し、アンプのボリュームを上げます。テーブルが閉じて、ディスクの第1曲目から演奏がはじまります。
- ④最後の曲の演奏が終了すると、STOP状態になります。
- ⑤OPEN/CLOSEキーを押し、ディスク・テーブルを出します。ディスクを取り出し、ディスク・テーブルは必ず閉じておいてください。

## 演奏を直ちに開始しないとき

- ◎ディスクを入れてからディスク・テーブル前面を軽く押すか、開閉スイッチを押すと、テーブルが閉じて合計曲数と総演奏時間をディスプレイして、次の指令があるまでスタンバイ状態になります。
- ◎ディスクを入れて▶▶ PLAY/PAUSEキーを2度押すと、テーブルは閉じ、第1曲目の演奏開始待ち(PAUSE)の状態になります。

## 途中のトラック(曲)からの演奏

- ◎ダイレクトプレイ・キーを使うと、ポーズ(一時停止)状態やディスク・テーブルが出ているときであっても、指定の曲から直ちに演奏を開始することができます。
- ◎テーブルが出ているか、ストップ状態で、トラックサーチ・キーを使って、任意の曲を選択し、▶▶ PLAY/PAUSEキーを押します。
- ◎▶▶ PLAY/PAUSEキーを押し、演奏が始まる前にトラックサーチします。トラックサーチ・キーを使うと、ディスク内任意の各曲の頭から自由に演奏を開始することができます。

## 途中で演奏を中止するには

- ◎一時停止は
  - ▶▶ PLAY/PAUSEキーを押します。[PLAY]が点滅して演奏は停止します。一時停止を解除するときは再度▶▶ PLAY/PAUSEキーを押してください。停止したところから演奏が始まります。

## ◎演奏を止めるには

STOPキーを押します。STOPキーを押した場合は、続きの演奏はできません。

## ◎ディスクを取り出すときは

演奏途中でも、ディスク・テーブル開閉スイッチを使います。リピート、プログラムの設定も解除されます。

## 曲の途中から演奏を開始するには

- ◎インデックス・サーチ・キーを使用すると、曲の途中の**特定のインデックスから演奏を始めることができます**。10ページに詳しく説明してあります。
- ◎トラックサーチ・キーやダイレクトプレイ・キーでトラックを選択し、その後、早送り、早戻しキーで**任意の場所から演奏を始めることができます**。
- ◎PAUSE状態からトラックサーチと早送り、早戻しキーで**目的のトラックと分・秒を合わせて演奏を開始することができます**。

## ◎フレーム(1/75秒)単位の頭出し

- ① TIMEキーの選択により絶対経過時間を表示(フレーム表示)させ、PAUSE状態にします。
- ② ◀◀FR/▶▶FFキーにより演奏開始フレームを指定します。この時は、頭出しに便利のように小音量で音がでます。
- ③ 再度▶▶PLAY/PAUSEキーを押すと、音は消えて通常の一時停止状態に戻ります。
- ④ 更に▶▶PLAY/PAUSEキーを押すと、指定したフレームより演奏を開始します。

## リピート(繰り返し)演奏

REPEATキーを使い分けると、ディスク全曲/1曲/指定した特定部分の繰り返し演奏ができます。11ページに詳しい解説があります。

## ◎ディスク全曲の繰り返し演奏

**ALL** キーを押してください。全曲を繰り返し演奏します。

## ◎1曲だけの繰り返し

**ONE** キーを押します。押したときのトラックを繰り返し演奏します。

## ◎特定部分の繰り返し

**A↔B** キーを使います。

演奏中に起点となるところ『A点』で押すと“A↔B”が点滅してA点が設定され、次に折り返したいところ『B点』に到達したら再度このキーを押します。“A↔B”が常時点灯に変わり、A～B間を繰り返し演奏します。

## ◎フレーム単位での特殊な繰り返し演奏

TIMEキーで絶対経過時間を選択しフレーム単位まで表示させます。▶▶PLAY/PAUSEキーを押しポーズ状態にします。  
◀◀FR/▶▶FFキーで、前項の様にA点、B点を設定すれば非常に短時間(フレーム単位)の繰り返し演奏ができます。

## ◎特定部分だけジャンプさせて演奏

前項の説明で『B点』の設定を、早戻しキーやトラックサーチキーなどで時間的にA点より前に戻して設定します。そうすると、B～Aをジャンプして演奏を繰り返します。

## プログラム演奏

PROGRAMキーを使うと、聴きたい曲だけを好きな順序で演奏を楽しむことができます。12ページに詳しい解説があります。

## ◎プログラム演奏のセット方法は

STOP状態のとき、PROGキーを押してダイレクト・キーで希望する演奏トラック番号を希望の順序で入力します。

## ◎プログラムしたトラック番号を確認するには

トラックサーチキーによりプログラムした曲番と順序を確認することができます。

## ◎プログラム演奏中にプログラムした演奏順序や曲数をチェックしたいときは

CHECKキーを一回押す度に、プログラムした第1曲目から順番に内容がディスプレイされます。

## ◎入力したプログラムを削除したいときは

STOP状態で、トラックサーチキーを使って削除したい曲番を表示させ、CLEARキーを押します。

## ◎プログラムを追加したいときは

STOP状態で、トラックサーチキーを使って追加したい場所を表示させて、ダイレクト・キーで入力します。表示されているトラック番号の次のところに追加入力されます。

## ◎セットしたプログラムを全て削除したいときは

ディスク・テーブルをあけるか、一旦電源を切ります。



### タイマー演奏

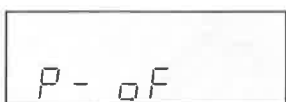
**P-on** 設定すると、市販のオーディオ・タイマーとの組み合わせにより、ご希望の時間に指定のトラック/インデックス番号より演奏を開始することができます。

#### 《 **P-on** 設定するには》

**STOP**キーを約5秒間連続して押しつづけると表示部に **P-on** と表示されます。



再度**STOP**キーを約5秒間押しつづけると、**P-oF** と表示され通常の使用状態になります。



このように、**STOP**キーにより **P-on** と **P-oF** が交互に設定されます。

ディスクが入ってなくても、この状態を設定することができます。

#### 《 **P-on** 設定されたら》

- ① **P-on** 表示後、**◀BACK/▶NEXT TRACK**キーにより希望のトラック番号を指定します。  
INDEX番号は、INDEXサーチ・キーにより指定します。
- ② **▶▶PLAY/PAUSE**キーを押して演奏を始めるか、または指定後電源をOFFにするとその番号が記憶されます。
- ③ 次の電源スイッチON時には、指定したトラック/インデックス番号の最初から演奏を開始します。

◎番号指定後は、通常の操作方法により演奏をお楽しみください。

◎ダイレクトキーからのトラック番号の指定は記憶されません。

◎番号指定をしないで電源OFFにしますと、次の電源スイッチON時には、1番目のトラック/インデックスより演奏を始めます。

◎記憶されたトラック/インデックス番号は、新たに **P-on** 表示して指定するまで変更されません。

◎番号指定後ディスクを交換してもその番号より演奏します。但し、記憶された番号がそのディスクの総トラック/総インデックス数より大きい場合には、最後のトラック/インデックス番号より演奏します。

◎リピートの“ALL”と“ONE”は、電源OFF直前の状態が記憶されます。

#### 《 **P-oF** 設定にもどすと》

この表示にしますと通常の動作状態です。

電源ON時に、ディスクが入っていれば内容を読み込んで演奏待機状態になりますが、演奏は開始しません。

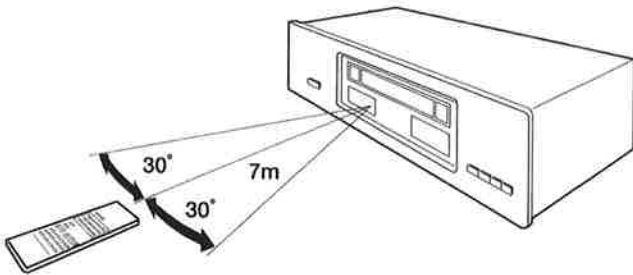
## リモート・コントロール

本機に付属しているリモート・コマンダーRC-11を使いますと、離れたところからDP-65をコントロールすることができます。  
DP-65本体側の機能とは別にダイレクトプレイ・キー、リピート・キー、プログラム・キーなど多彩な機能が満載されています。詳しくは、2ページと「各部の動作説明」を参照してください。

### ■使用方法

リモート・コマンダーの発光部をDP-65本体の②リモート・センサーに向けて、図の範囲でお使いください。

- 落としたり、内部に液体をこぼしたりしないようにしてください。
- 直射日光の当たる所や暖房器具のそばなど、温度や湿度の高い場所に置かないようにしてください。



### ■電池について

#### 【電池の交換時期】

電池は普通に使って約 8ヶ月はもちますが、操作距離が短くなってきたら交換時期です。完全に消耗すると、キーを押しても DP-65のコントロールができなくなります。

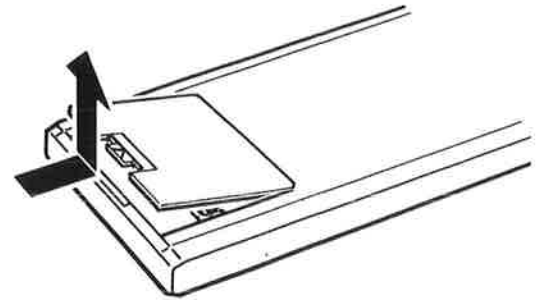
使用する乾電池は、UM-4(単4)型を 2個、両方とも新しい電池に交換してください。

#### 【電池についてのご注意】

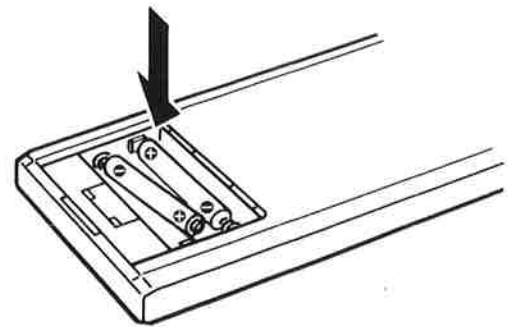
乾電池も正しく使わないと、液漏れや破裂などの危険があります。次の点に十分ご注意ください。

- 電池の向きはコマンダーのケースに示されている通り、⊕ (プラス)、⊖ (マイナス) を正しく合わせてください。
- 新しい電池と、1度使用したものを混ぜないようにしてください。
- 同じ形状でも、性能の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないようにしてください。
- 長時間にわたりコマンダーを使わないときは、電池を抜いておいてください。
- 万一、液漏れを起こしたときは、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

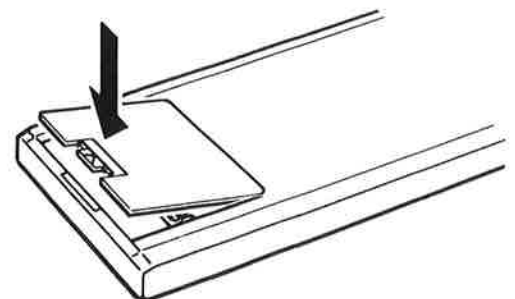
### 《乾電池の交換》



ツメを矢印の方へ押し蓋を開ける。



UM-4 (単4) 型乾電池2個、  
⊕ ⊖ を正しく入れる。



カチッと音がするまで閉める。

# 保証特性

[保証特性はEIAJ測定法CP-307に準ずる]

## 形式

CD専用再生機

## フォーマット

CD標準フォーマット

量子化数 : 16ビット  
 サンプリング周波数 : 44.1kHz  
 エラー訂正方式 : CIRC  
 チャンネル数 : 2チャンネル  
 回転数 : 500~200rpm (CLV)  
 線速度 : 1.2~1.4m/s一定

## 読み取り方式

非接触光学式読み取り(半導体レーザー使用)

## レーザー

GaAlAs(ダブルヘテロ・ダイオード)

## 周波数特性

4.0~20,000Hz ±0.3dB

## D/Aコンバーター

MMB方式 20ビット

## デジタル・フィルター

20ビット 8倍オーバーサンプリング  
 デジタル・ディエンファシス機能  
 偏差 : ±0.001dB

## 全高調波ひずみ率

0.0025%(20~20,000Hz)

## S/N

118dB

## ダイナミックレンジ

98dB

## チャンネル・セパレーション

106dB

## 定格出力・出力インピーダンス

BALANCED : 2.5V 50Ω 平衡 XLRタイプ  
 UNBALANCED : 2.5V 50Ω RCAフォノジャック

## 出力レベル・コントロール

0~-40dB間 1dBステップ(デジタル方式)

## デジタル出力フォーマット・レベル

フォーマット : DIGITAL AUDIO INTERFACE  
 OPTICAL : 光出力 : -21~-15dBm (EIAJ)  
 発光波長 : 660nm  
 COAXIAL : 0.5Vp-p 75Ω

## 電源・消費電力

AC100V 50/60Hz 20W

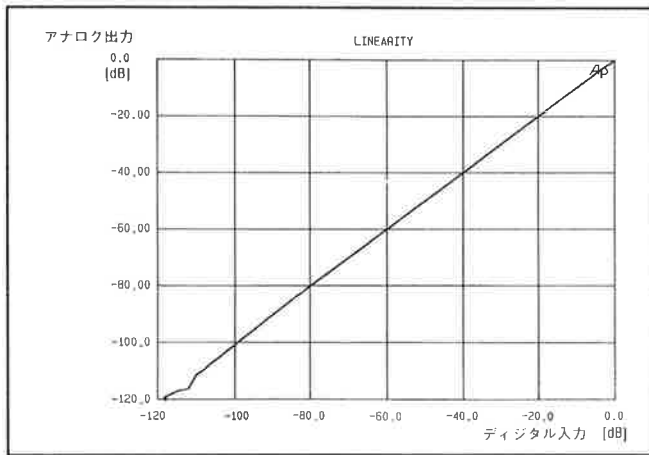
## 最大外形寸法・重量

幅475mm × 高さ140mm × 奥行385mm  
 15.6kg

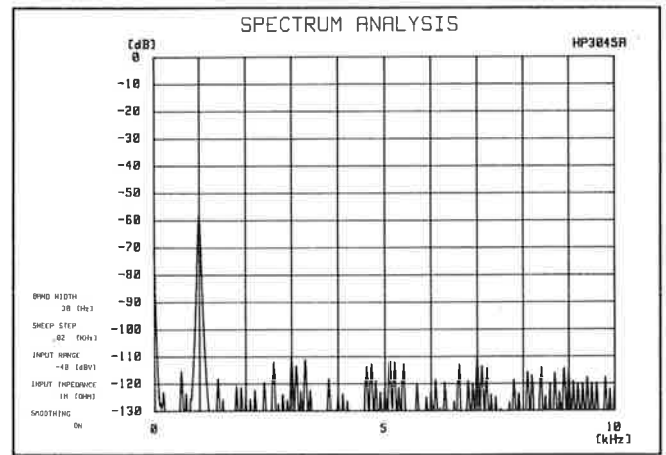
## 付属リモート・コマンダー RC-11

リモコン方式 : 赤外線パルス方式  
 電源 : DC 3V・乾電池 UM-4型  
 (IEC呼称 R03) 2個使用  
 最大外形寸法 : 66mm×175mm×20mm  
 重量 : 210g(電池含む)

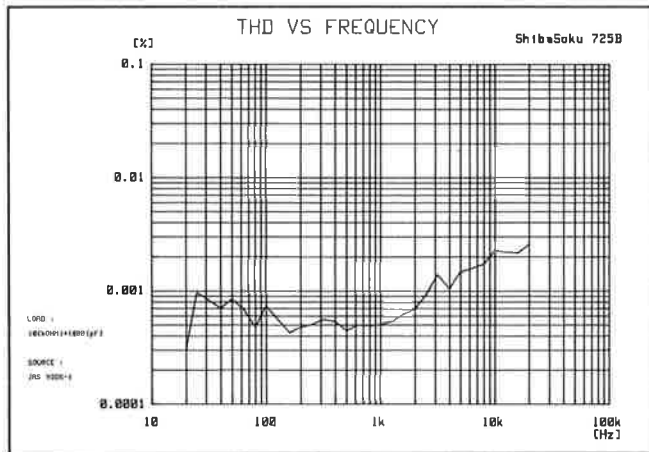
# 特性グラフ



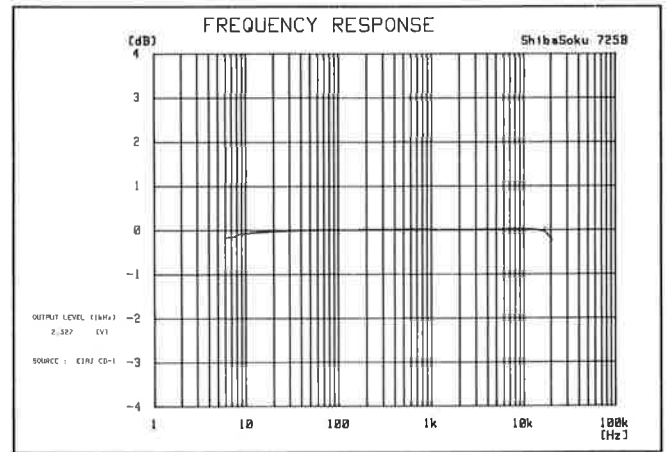
リニアリティ (アナログ出力/デジタル入力)



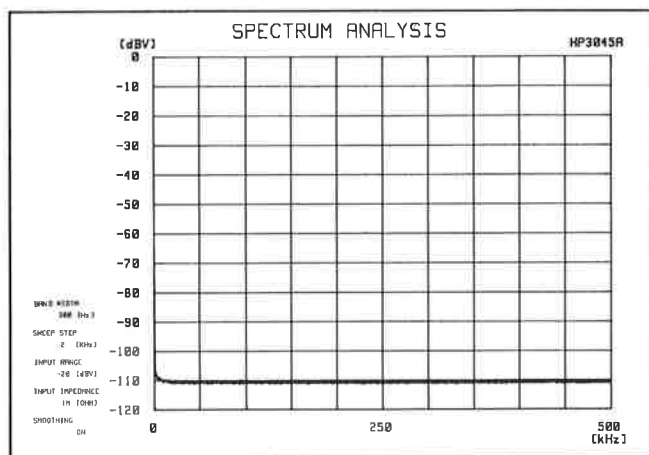
1kHz、-60dB 再生時の周波数スペクトラム



全高調波ひずみ率/周波数特性

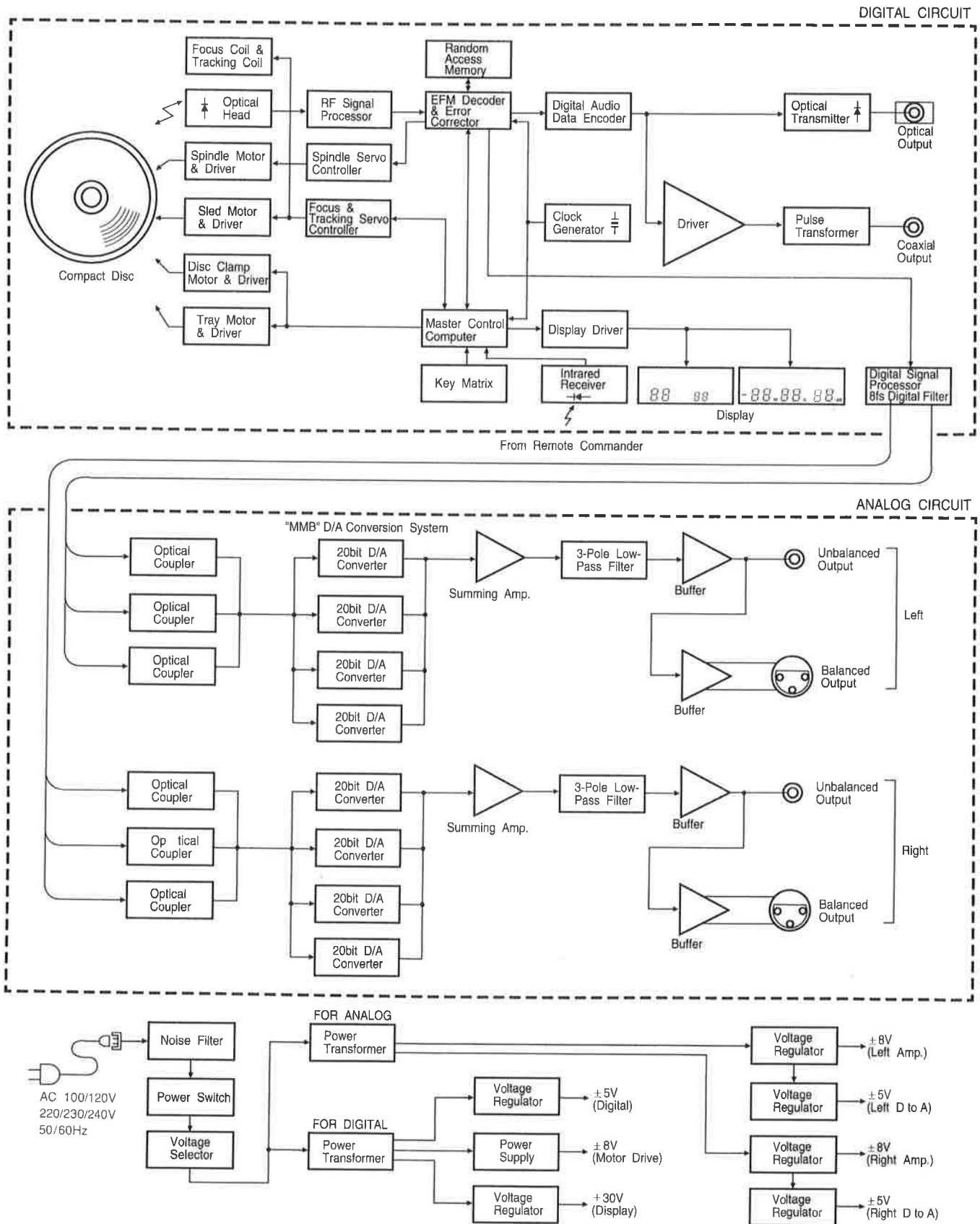


周波数特性



無信号再生ノイズの周波数スペクトラム

# ブロック・ダイアグラム





ACCUPHASE LABORATORY INC.  
アキュフェーズ株式会社  
横浜市緑区新石川2-14-10  
〒225 TEL(045)901-2771(代表)